

花山天体観望会

石井 貴子 (花山天文台)

(1) 観望会開催の経緯

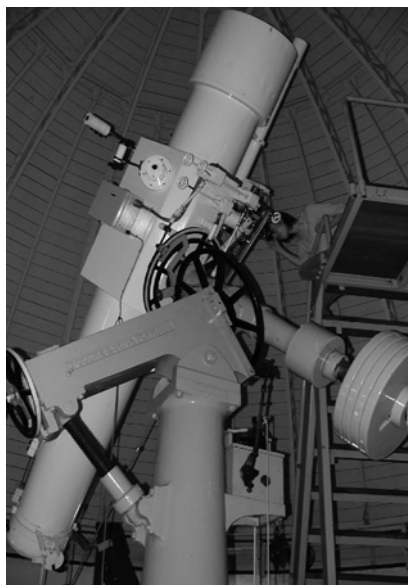
1999年に花山天文台創立70周年記念事業として行った天文台一般公開が好評であったことから、花山天文台では毎年秋の一般公開を定例の催しとして開催してきました。

開催当初は、曇天時100名、晴天時300名の参加者といった規模でしたが、2005年には天文台の収容人数としてぎりぎりの約650名の参加があり、秋だけでなく毎月開催して欲しいという要望も多く寄せられるようになりました。また、人気が高い45cm屈折望遠鏡での観望は、高い位置から望遠鏡を覗く(写真1)関係で一定時間に観望できる人数が限られてしまい、一般公開参加者全員に見てもらうことは難しい状態でした。

天文台側としても観望会の機会は増やしたいのですが職員だけでは年1回の一般公開の回数を更に増やすのは通常業務などの関係から難しかったところ、NPO花山星空ネットワークの設立を機に、天文台外の会員の皆さんの協力のもと季節に一回を目標に観望会を開催することになりました。

写真1：45cm屈折望遠鏡

当初、口径30cmのレンズがついていましたが、昭和44年に性能向上のため、カール・ツァイス製の45cmレンズに換装されました。これにより焦点距離が長くなり真っ直ぐだとドームに収まらないので、対物レンズから入った光を末尾の反射鏡で受けて折り返し鏡筒の真ん中付近に接眼レンズを設けました。このため、一般的な屈折式の望遠鏡とは少し違った外観となっており、高い位置から望遠鏡を覗くこととなります。



(2) これまでの開催内容

これまでに、2006年度に3回と2007年度第1回の計4回の観望会を開催しました。内容は、夜の45cm屈折望遠鏡での観望(30分)と観望対象天体に関する講演会(30分)の2本立てとし、参加定員100名(2006年度第1回のみ60名)を四グループに分けて全体で3時間程度の時間枠で行いました。

それぞれの観望会のテーマ、応募/参加者数、天候などを以下にまとめます。

開催日	テーマ	応募者数	参加者数	天候
2006年5月27日	木星と土星	698	45	曇
2006年8月5日	木星とガリレオ衛星	373	100	晴
2006年10月28日	お月さんの陸と海	215	92	曇のち雨
2007年5月19日	土星と金星	279	約90	晴のち曇

毎回、定員以上の応募があり抽選となっています。特に初回は、10倍の高倍率であり当日のキャンセルも数組あったことから、2回目以降は、時間的に観望可能な人数の上限と思われる100名まで定員を増やすことにしました。それでも現状、単純には3倍程度の倍率となるため、応募回数と当選回数に応じて重みをつけた抽選を行っています。

天候に左右され、曇や雨で観望できない場合には、皆さん一樣にがっかりされますが、望遠鏡の仕組みの解説や講演会、展示の説明など(写真2、写真5)を熱心に聞かれ、天候が悪かったのは残念だが参加して楽しかったとの、開催側として嬉しい感想を頂くことが多かったです。



写真 2: 望遠鏡の解説

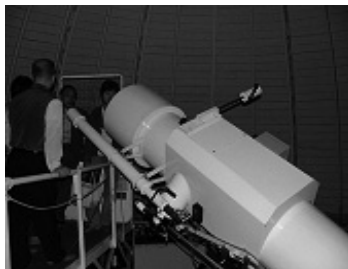


写真 3: レンズを覗いてみる



写真 4: 好天に恵まれた 2006 年 8 月の観望会



写真 5 柴田台長による講演会

(3) 今後の予定

今年度は、以下のように、あと 6 回の観望会が予定されています。

開催予定日	テーマ	開催予定日	テーマ
2007年 7 月 28 日	木星と月	2007 年11月10日	星団と星雲
2007 年 8 月 28 日	皆既月食	2008年3月9日	土星の環
2007 年 9 月 29 日	名月と名曲		
2007 年10月20日	一般公開		

昨年度の倍の数の開催となりますが、ある程度段取りも分かってきましたので、開催側の負担をなるべく減らして、なおかつ参加者側に心地良い場を提供できるように工夫して開催していきたいと思ひます。